

13:00~15:00

① 感染症にもレジリエントの未来の都市像とは

日本都市計画学会防災特別委員会／特別タスクフォース：新型コロナ対応 [第V会場/8号館 825教室]

パンデミック災害となった新型コロナウイルス感染症は、一学術領域だけではその全容を掴むことはできない。同感染症に対する研究ではビックデータ解析や人流測定など、定量的な測定が多く散見されるが、本ワークショップでは都市計画学の領域を超えた学際的議論を通じ、都市の長期的な変容の萌芽を捉え、将来発生しうる新型コロナウイルスを超える強毒性のある感染症にもレジリエントな都市に求められる要素を議論する。

≪登壇予定者≫吉原直樹(東北大学)、西浦博(京都大学)、廣井悠(東京大学)、石原凌河(龍谷大学)

② 2050年都市ビジョンの深化に向けた取組報告と論点提示

2050年都市ビジョン研究会(CPIJ研究交流分科会)[第VI会場/11号館 AL1]

当研究会では過年度の取組をもとに2021年6月に「2050年都市ビジョン提言書Ver1.0」を公表した。その後さらに提言書の内容を深めるため、ゲスト講師を招いた講演と意見交換会を継続的に実施するとともに、3つの分科会(都市構造・交通分科会、都心・居住分科会、環境・防災分科会)を立ち上げ、議論を重ねている。

今回のワークショップではこれまでの活動成果を報告するとともに、各分科会からの論点整理を行い、会場を交えた意見交換会を行う。

≪登壇予定者≫松谷春敏(株式会社IHI)、松下佳広(株式会社国際開発コンサルタンツ)、望月啓史(株式会社オオバ)、森本瑛士(信州大学)、伊地知大輔(株式会社エイト日本技術開発)

③ 都市プランナーに求められる職能とその社会的地位の向上にむけて

若手民間都市プランナーと学識経験者のコラボレーションによる社会的要請に応じた政策立案とその実装に向けた研究交流分科会(CPIJ研究交流分科会)[第VII会場/11号館 AL3]

コロナ禍等、社会課題が変わっていく中で、都市及び都市計画のあり方等については、様々な場面で議論がなされている。そのような中で、これからの「都市プランナー」、特に民間の立場で都市計画を担っている「民間都市プランナー」には、どのような職能が求められ、身に着けていくべきか、また、社会における「民間都市プランナー」という職種の地位をどう上げていくべきか、これらについて議論される機会は少ないと考える。

WSでは、都市計画実務に携わっている若手の民間都市プランナーに、これらについて議論してもらい、その課題や方向性を探るものである。

≪登壇予定者≫上條由紀、北岡亮、黒田美穂、小浦洋生、小崎晶子、坂井信行、棚瀬慎也、松本彩花、山崎慎也、山崎将也

15:30~17:30

④ 福島復興の到達点と今後の展望

日本都市計画学会防災特別委員会／第3部会：人為的災害 [第V会場/8号館 825教室]

福島原発事故から11年が経過したが、避難自治体の居住率は2割にとどまっているなど、課題は山積したままである。ALPS処理水の海洋放出への対応、中間貯蔵施設に保管されている除染土壌の県外最終処分、福島第一原発や福島第二原発の廃炉など、復興に向けた道のりは長い。本ワークショップでは、こうした中で、どのような展望を描くことが可能なのか、また、都市計画学はどのような役割を果たすことが可能なのか、こうした問いに向きあっていく。

≪登壇予定者≫川崎興太(福島大学)、伊澤史朗(双葉町長)、鈴木浩(元福島大学)、越山健治(関西大学)、佐々木晶二(土地総合研究所)、加藤孝明(東京大学)

⑤ これからの社会ニーズに対応するエリアマネジメント人材とは

エリアマネジメント人材育成研究会(CPIJ研究交流分科会)[第VI会場/11号館 AL1]

エリアマネジメント人材育成研究会の3年間の研究成果を、①雇用形態からみる人材特性及び全国都市再生推進法人の特徵に関する調査結果、②エリアマネジメントの裾野拡大に関する取り組み、③エリアマネジメント・ケースメソッドの出版及びエリアプラットフォーム実務者交流会から学んだことの、3点について報告し、多角的視点(①地域経済、②事業評価、③都市アセット)から、今後のエリアマネジメント人材のあり方について、議論を行うことを目的とする。

≪登壇予定者≫内川亜紀(札幌駅前通まちづくり株式会社)、中村周(ビルトザリガニまちづくり合同会社/(一社)釜川から育む会/楨総合計画事務所)、泉山壘威(日本大学)、藪谷祐介(富山大学)、木原一郎(広島修道大学)、宋俊煥(山口大学)、松下佳広(国際開発コンサルタンツ)、澤井遼(日本工営都市空間株)、堀江佑典(昭和株)、右田萌(SharedVision/(一社)アーバニスト)、谷村晃子(株)プランニング・プラス

⑥ 海外現場から伝える日本の都市計画のノウハウとは

海外都市開発研究交流分科会(CPIJ研究交流分科会)[第VII会場/11号館 AL3]

我が国では政府主導の質の高い「インフラシステム海外展開」の戦略の下、都市開発分野においても海外市場への積極進出が求められている。一方、日々変化する海外市場のニーズを把握するためには、海外の都市開発分野に関する産学官のより一層の連携が不可欠である。そこで本WSでは、海外現場の視点から日本の強みや直面する課題等を報告いただき、産学官の連携の必要性や新たな都市計画分野の可能性について議論する。

≪モデレーター≫宇都正哲教授(東京都市大学)、≪登壇予定者≫越智武雄氏((独)国際協力機構)、佐谷説子氏((独)UR都市機構)、吉村弘之氏((株)URリンケージ) ※登壇者は開催当日変更する場合があります。

⑦ シュリンク・シティをめぐる現代的課題

シュリンク・シティ研究会(CPIJ研究交流分科会)[第IV会場/8号館 824教室]

シュリンク・シティ研究会では国内外の縮小都市に関する研究を多面的に展開しているが、本大会でのワークショップでは、それらの研究のうち、国内の縮小都市の現場で何が起きているのか、についての研究発表を行い、それに関して会場とともにその過大を深耕させるような議論を展開することを目的としている。

≪登壇予定者≫発表者：饗庭伸(東京都立大学)、吉田友彦(立命館大学)、米村博明(NPO法人 八木まちづくりネットワーク理事) / コーディネーター：服部圭郎(龍谷大学)